

農業機械化広報

2006
10月号
印刷版

機械化フォーラム'06

2006年12月6日
すみだリバーサイドホール

1. 趣旨

わが国の農業は、農業者の高齢化、グローバル化の進展等、内外の諸情勢の変化の中で、大きな転換期を迎えており、国は食料の安定供給の確保や農業・農村の発展を図る観点から「21世紀新農政2006」において、国内農業の体質強化に向け、担い手の育成・確保と併せ、食料供給コストの縮減に向けた強力な取組を推進することとした。

このような中、我々農業機械業界は、担い手の規模拡大や生産コストの縮減を図るためには一層の農業機械化や効率的な機械利用等が不可欠との認識の下で、今回、国内の農業機械の生産、流通、利用等の関係者を一堂に会し、「担い手を支援する機械化新技術」というテーマで、機械化フォーラムを開催することにより、機械化新技術の普及、ひいては担い手の規模拡大・生産コストの縮減等に資する。

2. 日時：平成18年12月6日(水) 10時30分～16時15分

3. 場所：すみだリバーサイドホール (東京都墨田区吾妻橋1-23-20)

4. 主催：社団法人日本農業機械化協会

5. 後援(予定)：農林水産省

6. 協賛(予定)：生物系特定産業技術研究支援センター、農業機械学会、全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、全国農業機械化研修連絡協議会、全国農業機械士協議会 (順不同)

7. 内容

基調報告

ア、不耕起栽培等新技術導入による規模拡大の取組み

(茨城県桜川市 有限会社イワセアグリセンター 代表取締役 菱沼英昌氏)

イ、新たな水田輪作営農体系の構築と担い手

(中央農業総合研究センター 農業経営研究チーム長 梅本 雅氏)

現地報告 【機械化実証地区の実践事例報告】

ア、長ネギの新しい移植機開発と規模拡大の取組み

(埼玉県農林総合研究センター 園芸研究所 副研究所長 岡安 正氏)

イ、大豆の耕耘同時畝たて播種技術

(中央農業総合研究センター(北陸研究センター)北陸水田輪作研究チーム長 細川 寿氏)

ウ、水稻種子用の温湯消毒装置の導入による減農薬栽培米づくり

(新潟県 JA越後さんとう寺泊育苗センター長 山田健治氏)

エ、担い手と地域に貢献する飼料増産の機械化技術

(九州沖縄農業研究センター イネ醗酵TMR研究チーム チーム長 佐藤健次氏)

新技術説明 【普及性の高い機械化新技術の説明】

ア、簡便な圃場生育診断システムおよび残留農薬測定技術について

(株)サタケ 技術本部 穀物研究室 室長 香川清澄氏)

イ、高精度GPSを利用した均平作業について

(スガノ農機(株) 常務取締役 田辺義男氏)

総合検討〔講演者・助言者によるパネルディスカッション方式〕

助言者 中央農業総合研究センター 農業経営研究チーム長 梅本 雅氏

8 参加者

農林水産省、都道府県（行政、普及、試験研究、教育研修機関等）市町村、農業協同組合、農業関係団体、農業者、農業機械士、農機メーカー、農機販売事業者等

9 参加申込方法

下記の参加申込書（様式）により(社)日本農業機械化協会に申し込む

〒104-0033 東京都中央区新川 2 - 6 - 1 6 馬事畜産会館 6 F

:03 - 3297 - 5640 Fax:03 - 3297 - 5639

<http://www.nitinoki.or.jp/> E-mail:kikaika@nitinoki.or.jp

(日 程)

時 間	内 容	担 当
10時30分～10時40分	開会挨拶	農水省(社)日本農業機械化協会
10時40分～11時20分	基調報告	イワセアグリセンター
11時20分～12時00分	基調報告	中央農業総合研究センター
12時～13時	昼食	
13時00分～14時20分	現地報告（4課題×20分）	研究・指導機関
14時30分～15時10分	新技術説明（2課題×20分）	開発メーカー
15時15分～16時15分	総合検討	各講演者
16時15分	閉会	(社)日本農業機械化協会

*****キリトリ*****

機械化フォーラム'06 参加申込書（様式）

機関・団体・会社名等 _____

連絡先（担当者名） _____ 所属 _____

氏 名	所 属・職 名	昼弁当予約 (千円予定)	資料予約 (千円)

(注) 昼食弁当代金（お茶付千円予定）および資料代金(千円)は当日受付時に頂きます。(印)

この申込書は**11月10日(金)**までに Fax**03 - 3297 - 5639**宛送付ください。

または本会HP (<http://www.nitinoki.or.jp/>)からも申込できます。

18 年産水稻作柄概況

-9月15日現在-

9月29日農林水産省は18年度産米の9月15日現在の作況指数は「97」、作柄は「やや不良」の見通しと発表した。

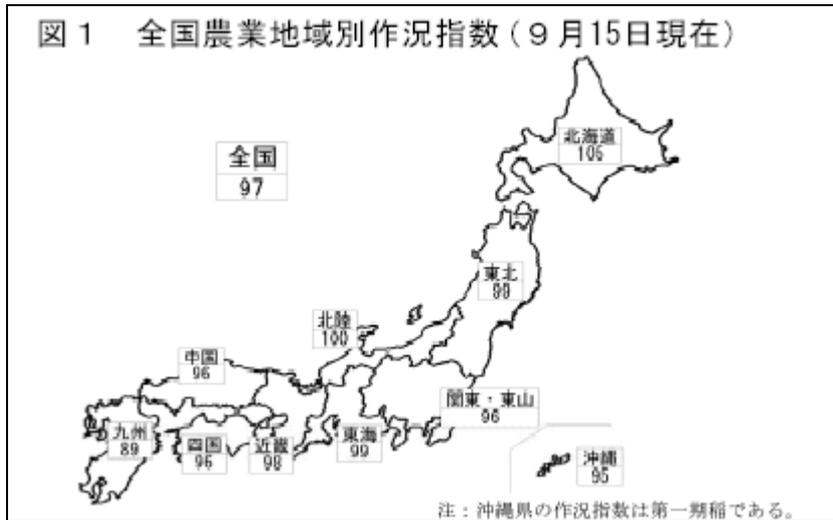
7月下旬までの全国的な日照不足が響いた上、8月から9月にかけて九州等を襲った台風10号、13号の影響で大きな減収被害が出た。

「やや不良」は、作況指数が「98」だった16年度産以来、2年ぶりに18年度産の不作が決定的となった。

くわしくは、

<http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/sui-tou-sakugara20060915/sui-tou-sakugara20060915.htm>

図1 全国農業地域別作況指数(9月15日現在)



オフロード法(特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律)で注意促す -ユーザーに対応機使用を義務づけ-

オフロード法(特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律)は、17年5月に公布され、今年10月1日から、エンジンの大きさによって順次施行が始まる。この法律では使用者に対して、「適合表示」または「少数特例表示」がついたもの以外を用いてはならないとし、違反した者に対して30万円以下の罰金に処するとしている。こうしたことから農林水産省生産局・技術対策室(川本憲一室長)では、「農耕作業用自動車の排出ガス規制について」と題するチラシを作成、農業機械の流通ルートや農業機械士会などを通じて農家へ配布、注意を促している。

今年10月1日から一部で適用

公道を走行する乗用型トラクターなど農耕用の小型特殊自動車は、型式認定を受ける時点で、排出ガス規制が行われているが、公道を走行しないものは、このオフロード法で規制されることになった。その規制は、一番早いものが軽油を使う定格出力130kW以上560kW未満(約177馬力~約762馬力)を対象

に今年10月1日から始まった。

以後、順次、19年10月1日からは、農業機械に多い軽油を使う19kW以上37kW未満(約26馬力~約50馬力)、75kW以上130kW未満(約102馬力~約177馬力)、ガソリン・LPGを使う19kW以上560kW未満(約26馬力~約762馬力)が対象となり、20年10月1日からは37kW以上56kW未満(約

50馬力～約76馬力)、56kW以上75kW未満(約76馬力～約102馬力)が対象となる。(表参照)

これは新形式に対してのもので、継続型式や輸入車はそれより1～2年遅れて対象となる。

普通型コンバインなどが問題

こうしたエンジンを積んだオフロード車は、それ以前の製造のものか、適合したもの以外使用してはならないとされている。定置式の場合は今回、対象となっておらず、自走式のトラクターやコンバイン、田植機、スピードスプレー、ホイールタイプの自走作業機、クローラ式の自走作業機などが対象となる。

また、農耕用に限らず、建設機械や運搬機械で公道を走行しないものも対象となっており、そうしたものはバックホウやフォークリフトなどがある。

農林水産省・技術対策室によると、トラクターや自脱型コンバインの多くは公道を走行できるよう国土交通大臣の型式認定をとっており、このオフロード法の対象外となる。一部とっていないもの、特に普通型コンバインや沖縄等で使われるケーンハーベスタなどが問題となるが、その適用はエンジンの出力

の関係や輸入車が多いことなどからほとんどが来年の10月1日以降の適用となる、という。

同対策室の推計によると、15年の出荷のうち、農用トラクターで対象となるのは、6万6287台のうち、109台、自脱型コンバインは3万3345台のうち1台、普通型コンバインは844台のうち、752台。数は少ないものの注意が必要だ。

農家は、規制開始日以降、そうした農耕用作業車を購入する場合は、車両に「排出ガス基準適合車」か「少数特例基準適合車」のシールが貼られていることを確認する必要がある。

また、現在使用しているものについては、製造日が規制日以前ということで対象外であり、使用してもよく、中古機についても売買、使用ができる。ただし、規制日以前の製造であることを証明できる販売契約書などの書類を保管しておくことが必要となる。

規制日以降は、基準に適合していない農耕用作業車を使用すると、30万円以下の罰金に処せられる。この規制については、農林水産省や環境省の職員が立ち入り検査や確認を行うことになっている。

パンフレットでは、不明の場合は近くの農政局、環境事務所等に問い合わせしてほしいとしている。

特定特殊自動車の種類		規制適用日	
燃料	定格出力	新形式	継続型式・輸入車
軽油	19kW以上37kW未満 (約26馬力～約50馬力)	平成19年10月1日	平成20年9月1日
	37kW以上56kW未満 (約50馬力～約76馬力)	平成20年10月1日	平成21年9月1日
	56kW以上75kW未満 (約76馬力～約102馬力)	平成20年10月1日	平成22年9月1日
	75kW以上130kW未満 (約102馬力～約177馬力)	平成19年10月1日	平成20年9月1日
	130kW以上560kW未満 (約177馬力～約762馬力)	平成18年10月1日	平成20年9月1日
ガソリン・LPG	19kW以上560kW未満 (約26馬力～約762馬力)	平成19年10月1日	平成20年9月1日

丸ハンドルで 回転も、す〜っとスムーズ。

※写真はGC695です。
Fulltime Drive System

GC695

YANMAR

ヤンマーコンバイン

トップアスリート

- アスリートプロ35～145馬力
- アスリートジャスティ16.5～28馬力
- アスリートエコ8～21馬力 ※アスリートエコは、1本レバーです。

食料供給コスト縮減アクションプラン

農林水産省が策定 資材費の低減や規模拡大、技術開発で

農林水産省は9月15日、「食料供給コスト縮減アクションプラン」を公表した。今年6月に設置した「食料供給コスト縮減検証委員会」の4回にわたる検討を元に、当面の取り組みをまとめたもので、重点的に取り組むべき課題として、低価格資材の供給や効率利用等による生産コストの縮減 経営規模拡大、技術開発等による生産コストの縮減 卸売市場改革や物流効率化等による流通コストの縮減 鮮度や形状等に関する消費者ニーズ等への効率的な対応によるコストの縮減 農協の経済事業改革の推進による生産コスト及び流通コストの縮減 をあげ、「5年で2割削減」の目標に挑む。

5年で2割削減を目標に

策定されたアクションプランでは、項目、取り組み主体ごとに取り組み内容と目標を示しており、進めるに当たっては、PDCA (Plan Do Check Action) の仕組みを導入。毎年検証を行いながら、5年で2割削減の目標達成を図る。

以下に、農業機械関連での取り組みをみる。低価格資材の供給や効率利用等による生産コストの縮減

低価格資材の供給

低価格資材の供給

低価格な農業機械の供給 = 基本性能を確保しつつ、機能の特化等により従来機種よりも1割程度低価格な「低コスト支援農機」の担い手向け大型機種に占める割合を拡大（全農においては、担い手向け韓国トラクターの輸入取り扱いや国産の独自型式トラクターの取り扱いも行う）

全農等販売業者や農業者のニーズを踏まえ、大型機種を含む低コスト支援農機の供給を適切に実施。

目標...41%（17年） 54%（22年）・全農分

取り組み主体...全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会、日本農業機械工業会

農業機械の型式・仕様の集約化等 = 製造コストの縮減に向け、主要農業機械（トラクター、田植機及びコンバイン）の型式・仕様数の集約化、部品の共通化・点数の削減、OEM等を推進。

目標...17年に対して仕様数を5%削減（22年）

取り組み主体...日本農業機械工業会

中古農業機械の活用促進 = 中古農業機械について、インターネットによる情報提供、展示会の開催

等による活用促進。

取り組み主体...全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会

高性能農業機械の開発・実用化の促進 = 農政の推進方向、現場ニーズ等に即して、産学官連携等により民間企業等の技術等を活かしながら、高性能農業機械を効率的に開発。

取り組み主体...農林水産省、生物系特定産業技術研究支援センター

生産資材の流通の合理化

生産資材の流通の合理化

農業機械の割引制度の活用促進 = 農業機械の購入に当たり、流通在庫の軽減が図られ、有利な条件で取引できる計画注文による割引制度について、農協等に対してPR活動や周知徹底等によりその活用を拡大。

取り組み主体...全国農業協同組合連合会

生産資材の効率利用等

生産資材の効率利用等

農業機械の稼働面積の拡大 = モデル地区を設定して、農業機械の稼働面積の拡大に資する作期分散技術等を導入するとともに、集落内の余剰農機の処分等の取り組みを併せて推進することにより、稲作の生産資材の合理的利用体系の確立を支援。

目標...モデル地区における稲作の3資材（肥料、農薬及び農業機械）に係るコストを3年で15%削減。

取り組み主体...農林水産省

同 = 農業機械の適正導入の推進、担い手への作業集積、経営組織体の前段階としての農作業受委託組

織や農業機械の共同利用組織の育成を推進。

目標...農業機械の稼働面積の拡大

取り組み主体...都道府県

同 = 農業機械の適正導入・効率利用を指導する機械化プランナー（農協職員）を育成。

目標...全農協（約 800 名）

取り組み主体...全国農業協同組合連合会

農業機械の長期利用を図る

農業機械の長期利用のための点検整備等の推進 = 農業機械の長期使用傾向に対応した部品供給体制の整備。

1) 供給年限ガイドラインによる補修用部品の長期安定供給。

目標...法定耐用年数 + 4 年

2) 部品供給センターの即納率の維持。

目標...発注から 1 ~ 2 日中に納品できる割合: 95% 以上の確保

取り組み主体...日本農業機械工業会

同 = 農業機械の長期使用のための定期点検・整備の推進。

取り組み主体...全国農業協同組合連合会、全国農業機械商業協同組合連合会

その他生産コストの縮減

その他生産コストの縮減

新技術の導入等による労働時間の短縮 = 土地利用型作物については、大規模経営体に相応しい革新的技術を組み合わせたモデル経営体の育成を通じた、水稻直播栽培や大豆不耕起栽培等の省力化技術の普及を推進。

目標...品目横断的経営安定対策の対象経営の 1 % 程度をモデル経営体として育成

取り組み主体...農林水産省、都道府県

同 = 野菜等園芸作物については、リレー利用を含めた野菜の機械化一貫体系の導入や共同選別の実施、

果樹園の基盤整備や矮化栽培、低樹高仕立て栽培、労働時間の長い着色管理作業（玉回し、葉積み等）を大幅に削減できる高着色系品種への転換を推進。

取り組み主体...農林水産省

同 = 畜産については、哺乳ロボット等新技術の導入等による飼養管理技術の高度化、コントラクター、ヘルパー等のサービス事業者による作業の外部化等を推進。

取り組み主体...農林水産省

新品種や新技術の導入等による単収の向上、安定化 = 土地利用型作物については、病害虫の抵抗性等品種の導入や不耕起密植栽培、春まき小麦の根雪前（11 月上旬）播種等の新技術の導入を推進。

取り組み主体...農林水産省、都道府県、農業団体

同 = 野菜等園芸作物については、多収性品種及び大玉化・高単収栽培技術の実証・普及を推進。また、施設園芸分野においては、「スーパーホルトプロジェクト協議会」を発足させ、民間活力主導の下に産学官が連携して、園芸施設・装置コストの低減と生産力の増加を推進。

取り組み主体...農林水産省、都道府県、農業団体

同 = 畜産については、家畜改良を推進し、乳量、増体等の家畜の能力向上を促進。

取り組み主体...農林水産省、都道府県、農業団体

生産性高い水田、畑輪作システムなど

の経営規模拡大、技術開発等による生産コストの縮減では、担い手への農地の利用集積、生産性の高い水田輪作・畑輪作システム、収益性の高い園芸生産システムを確立するための研究開発の推進などとともに、高性能農業機械の開発・実用化の促進をあげている。

三菱農業機械
三菱小型乗用2条刈コンバイン
レセルダ
VMS11
ディーゼルエンジン搭載!!
三菱農機株式会社 営業本部 東京都中央区日本橋大伝馬町3-2
VMS11 KC

Dr. 文武の農作業安全

飲んだら乗るな、乗るなら飲むな！

先日来、飲酒運転による事故・検挙の報道が連日見聞きできます。運転免許の教習を受けたり、道路交通関係の法令等を自分で勉強したりしたときに、「酒気帯びまたは飲酒運転は絶対にしてはならない」と教えられたり、読んだ記憶があります。運転免許を持っている人はそのことを理解した上で試験に合格しています。にもかかわらず、取り締まる立場の警察関係者を始め、議員さん、公務員、一般社会人、中には未青年まで、「ちょっとだから」から「どれだけ飲んだか記憶にない」まで、言い訳にならない言い訳がついています。

農村地区でも、これから収穫感謝祭やレクリエーションで飲酒する機会が多いでしょうが、標題のとおり、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな！」を実践してください。ルールを無視すると、どのようなしっぺ返しがるかを考えれば、「俺は大丈夫」はやめるべきです。事故を起こせば、刑事罰がありますし、人身事故・物損事故いずれでも「被害者への補償」が重くのしかかります。一生かかっても償えないほどの賠償命令が出ることもあります。「被害者に十分な償いができるか、社会に対して償いができるか」「事故を起こしたらわが身、わが生活はどうなるか」

を考えて、行動したいものです。

ビールの大瓶を1本飲んだ場合、体重60kgの人の血中アルコール濃度がゼロになるのには4時間かかるそうです。体質によって多少の差はあるでしょうが、飲み終わった後で30分程度仮眠しても体内からアルコールが抜けるはずがないのです。飲酒量によっては、翌朝でもアルコールが残っているそうです。悲劇の脇役になることのないよう、心してください。



*この話は農耕車（トラクター、コンバイン、運搬車など道路を走行できるもの）も含まれています。

Kubota
美しい日本をつくる。

ベルティオン、
それは頂き。



Kingard
BELTION

クボタトラクタ ニューキングケルベルティオン
ハイブリッドエンジン搭載 4100(140PS)・4600(160PS)・5000(180PS)・5500(200PS)
標準装備 (L)500 (160PS)・430 (140PS)

新登場

株式会社クボタ 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 ●http://www.kubota.co.jp

「刈払機の作業を安全に」

パンフレット及びDVD完成！(18年11月1日販売開始予定)

本会では、機械化推進に向け各種の資料等を作成しています。農作業安全関係では、後遺症の残るような比較的大きな事故がある刈払機を取り上げ、作業安全に向けた研修会等で活用していただくことをねらって、標題のようなパンフレット(B5版16頁)とほぼ同じ内容のDVDを作成することとし、作業を進めていましたが、このたび、パンフレット及びDVDともに完成いたしました。DVDは茨城県立農業大学の協力を得て、8月16日から3日間の撮影を行いました。

た。素人が行う撮影とは異なり、農林放送事業団のプロが撮影するため、炎天下、出演者はもちろんのこと、スタッフも汗だくになりました。シルバーボランティアを対象とした草刈の講習会、農業者への講習会、大学などでの授業等で、まず、映像で安全の勉強をし、パンフレットは復習のときに見ていただくことを想定しています。

農林水産省生産局の「推薦」をいただけるよう申請中です。



パンフレット



DVD

-価格表-

資料名	体裁	価格	備考
刈払機の作業を安全に	パンフレット B5-16 頁	@¥300	50部未満送料いただきます
刈払機の作業を安全に	DVD 約 20 分	@¥3,000	送料込み
研修セット「刈払機 1」	DVD1 枚とパンフレット 50 部	¥15,000	送料込み
研修セット「刈払機 2」	DVD1 枚とパンフレット 100 部	¥26,000	送料込み
研修セット「刈払機 3」	DVD1 枚とパンフレット 300 部	¥70,000	送料込み

価格には消費税 5%が含まれています。

パンフのみを多量一括購入・一箇所納品の場合には価格が割引になることがあります。図書係へお問い合わせください。

パンフにはご希望により実費にて名入れ印刷をいたします。(1件につき 7,350 円)

申し込み先：FAX 03-3297-5639

型式検査（平成18年9月1日官報告示分）

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ/フレーム

合格番号	型式名	依頼者名	主な仕様	装着トラクター	主な装備
206005	クボタ SF-JB11	株式会社クボタ	2柱式安全フレーム ボルト締めによる組立構造でフレーム上部の折曲げ可能	クボタ JB11(7.7kW{10.5PS}、4輪駆動)	シートベルト(2点式)
206006	クボタ SF-JB18	株式会社クボタ	2柱式安全フレーム、ボルト締めによる組立構造でフレーム上部の折曲げ可能	クボタ JB18(13.6kW{18.5PS}、4輪駆動)、 クボタ JB16(12.1kW{16.5PS}、4輪駆動)、 クボタ JB14(10.7kW{14.5PS}、4輪駆動)、 クボタ JB13(9.6kW{13.0PS}、4輪駆動)、 クボタ JB11(7.7kW{10.5PS}、4輪駆動)	シートベルト(2点式)
206007	クボタ SF-JB18-2	株式会社クボタ	2柱式安全フレーム、ボルト締めによる組立構造でフレーム上部の折曲げ可能	クボタ JB18(13.6kW{18.5PS}、4輪駆動)、 クボタ JB16(12.1kW{16.5PS}、4輪駆動)、 クボタ JB14(10.7kW{14.5PS}、4輪駆動)、 クボタ JB13(9.6kW{13.0PS}、4輪駆動)	シートベルト(2点式)
206008	ヤンマー FQ420	ヤンマー農機株式会社	安全キャブ、溶接による一体構造	ヤンマー CT420(30.9kW{42PS}、装軌式)、 ヤンマー CT340(25.0kW{34PS}、装軌式)、 ヤンマー CT280Q(22.1kW{30PS}、装軌式)	シートベルト(2点式)、換気・暖冷房装置、電動ワイパー(前・後)、ルーフハッチ

安全鑑定情報（平成18年8月分）

安鑑番号	農業機械の種類	型式名	依頼者名	主な仕様	鑑定の対象に含めたアタッチメント等
31037	農用トラクター（乗用型）	クボタ L34H	株式会社クボタ	4輪駆動、機関25.0kW{34PS}/2700rpm、1.826L	装着キャブ・フレーム（合格番号）、クボタ KSF34（206010）、クボタ KSQ33（206009）
31038	農用トラクター（乗用型）	ニューホランド TVT190	日本ニューホランド株式会社	4輪駆動、機関141kW{192PS}/2100rpm、6.595L	装着キャブ・フレーム（合格番号）、CNH 130.04(206012)
31039	農用トラクター（乗用型）	ニューホランド TVT170	日本ニューホランド株式会社	4輪駆動、機関126kW{171PS}/2100rpm、6.595L	装着キャブ・フレーム（合格番号）、CNH 130.04(206012)
31040	農用トラクター（乗用型）	ニューホランド TVT155	日本ニューホランド株式会社	4輪駆動、機関115kW{156PS}/2100rpm、6.595L	装着キャブ・フレーム（合格番号）、CNH 130.04(206012)、CNH 130.14(206011)
31041	農用トラクター（乗用型）	ニューホランド TVT145	日本ニューホランド株式会社	4輪駆動、機関108kW{147PS}/2100rpm、6.595L	装着キャブ・フレーム（合格番号）、CNH 130.04(206012)、CNH 130.14(206011)
31042	農用トラクター（乗用型）	ニューホランド TVT135	日本ニューホランド株式会社	4輪駆動、機関101kW{137PS}/2100rpm、6.595L	装着キャブ・フレーム（合格番号）、CNH 130.04(206012)、CNH 130.14(206011)
31043	農用トラクター（歩行型）	ㇿセキ K022	井関農機株式会社	管理専用機、機関1.6kW{2.1PS}、ガソリン、リコイルスタータ、車軸耕うん型	-
31044	農用トラクター（歩行型）	ㇿセキ K023	井関農機株式会社	管理専用機、機関3.1kW{4.2PS}、ガソリン、リコイルスタータ	センタードライブプロ-タリ(55,50,30cm)、機関2.2kW{3.0PS}
31045	農用トラクター（歩行型）	ㇿセキ K025	井関農機株式会社	管理専用機、機関0.7kW{1.0PS}、ガソリン、リコイルスタータ、車軸耕うん型	-
31046	田植機	クボタ NSU50	株式会社クボタ	乗用型5条植、機関6.2kW{8.3PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31047	田植機	クボタ NSU55	株式会社クボタ	乗用型5条植、機関7.7kW{10.5PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31048	田植機	クボタ NSU60	株式会社クボタ	乗用型6条植、機関6.2kW{8.3PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31049	田植機	クボタ NSU65	株式会社クボタ	乗用型6条植、機関7.7kW{10.5PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31050	田植機	クボタ NSU67	株式会社クボタ	乗用型6条植、機関8.5kW{11.5PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31051	田植機	クボタ NSU87	株式会社クボタ	乗用型8条植、機関8.5kW{11.5PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31052	田植機	ヤンマー VP40	ヤンマー農機株式会社	乗用型4条植、機関3.8kW{5.1PS}、マット苗、回転式植付機構、条間30cm	施肥機(粒状肥料用)
31053	もみすり機	ㇿセキ M005	井関農機株式会社	脱ぶ部：ゴムロール式、ロール径：200mm、170mm、ロール幅：127mm、選穀部：揺動式	-
31054	もみすり機	ㇿセキ M006	井関農機株式会社	脱ぶ部：ゴムロール式、ロール径：200mm、170mm、ロール幅：102mm、選穀部：揺動式	-

業界短信

農林水産省の調査で集落営農は1万481

農林水産省水産が発表した集落営農実態調査結果の概要(平成18年5月1日現在)によると、平成18年の集落営農数は1万481で、前年に比べ981が新設され4.2%の増加となった。このうち、担い手として期待される「集落内の営農を一括管理・運営している集落営農」は1628で、前年に比べ10.0%増加した。こうした担い手集落は現在、全体の15%程度にとどまっているものの、今後、担い手要件を満たすなどして品目横断的経営安定対策への加入を予定している集落営農は2941と3割となっている。集落営農のうち農業生産法人は7.4%となっている。

17年のトラクター作業機国内出荷は9.8%増

日農工(幡掛大輔会長)が発表した平成17年1~12月の作業機の生産・出荷・輸入実績(日農工実績。北農工分は含まない)によると、乗用トラクター用、歩行トラクター用、自走式を合わせた作業機の出荷金額は、国内向けが379億3095万円、輸出向けが3886万円で、合計で379億6981万円。国内向け出荷は前年比9.8%増となった。機種別ではロータリが3万2272台、94億194万円で前年比21.7%増で推移した。

長野経済連が国産トラクター購入者に100万円の盗難補償

JA長野県本部では、8月から県内のJA農機センターから購入した国産のトラクターに、初年度限定でNOSAI農機具損害共済の100万円補償を付加するサービスを始めた。トラクターの盗難が多いこととことから始めたもので、購入して1年以内に盗難に遭った場合、最高で100万円の補償が受けられる。また、特約として死亡・重大な後遺症に30万円、30日以上入院加療に5万円が支払われる。

第15回高知県農業振興フェア賑わう

第15回高知県農業振興フェア・農機具まつり(高知県、県農業機械協会主催)が、南国市の県農業技術センターで開催され、期間中約3900人が来場し、大いに賑った。会場では様々な農機具の展示や実演が行われ、来場者は最新技術に触れたり買い物などを満喫。今年は橋本大二郎県知事が視察に来訪し、主催した県農業機械協会の久松朋水会長(太陽社長)が案内した。会場では、5月末に導入された残留農薬基準を強化する「ポジティブリスト制度」に対応する「ドリフト(農薬飛散)低減型ノズル」の実演や米の食味度測定などがあり、来場者が高い関心を寄せていた。

大竹製作所のオータケインペラもみすり機に注目

同機は「脱ぷファン+ライニング」を採用。インペラ(特殊樹脂製回転翼)上を勢いよく滑り降りながら、湾曲部で「初むき作用」をうけ脱ぷする。このため、

1. ロールレスだから調整いらずの簡単作業
2. 初水分にほとんど影響されない抜群の脱ぷ率
3. 玄米貯蔵に最適な肌ずれが少ないきれいな仕上り米

などの特徴を持つ。

「インペラ脱ぷ」と「揺動板選別」を組み合わせたのが、「エスタップDYシリーズ」、「インペラ脱ぷ」と「揺動万石網選別」を組み合わせたのが、「ハイパールDMシリーズ」で、ともに高脱ぷ率なことと、きれいな仕上がりで好評だ。

これぞオート変速!
路上走行に威力を発揮する**アクセル変速**、作業を記憶する**メモリー変速**、常に最適な駆動を選択する**オート4WD**。
3つのオート変速機能が、路上でも圃場でも、確かで快適な走りを実現します。

オート変速トラクタ
ジラス AT 誕生! AT23~AT50/23ps~50ps

人と大地のハーモニー ISEKI

井関農機株式会社

クボタが夢農業九州を開催

担い手農家を対象とした大規模実演展示会「クボタ夢農業九州 2006」が宮崎市内の市民の森西側特設会場で開催された。今回は全国でも初めての「野菜作・畜産版」。会場には、葉菜類機械化体系、根菜類機械化体系、土作り関連機械、畜産・環境保全コーナー、育苗・施設園芸コーナーの5つのゾーンが設けられ、パワクロやそれに装着した作業機など、クボタ及びくるみ会会員メーカーの最新鋭機約200点が展示、実演を行った。また午後からは九州で活躍する元気なプロ農家と組織代表による「営農トーク」を開催、800名の来場者が聴講した。

小橋工業が新サイバーハローTXシリーズ発売

新サイバーハローTXシリーズは、ハロー両サイド付近の仕上がりに乱れがなく、均一で美しい、理想的な田植え圃場作りが行える。また、自動耕深装置を標準装備（特3P仕様）した。土と水の流れを制御する「新・整流方式＝サイバー・フロー・コントロール方式」の採用で、ハロー前方から後方まで土・水の流れを確実にコントロール。より均一で美しい仕上げを実現した。ハロー開閉が手動のマニュアルタイプと、ワンタッチ電動開閉式のHタイプ、電動開閉に土引操作と延長レベラも自動化したEタイプを揃えている。

サタケのDNA品種判定装置が穀物検定協会から精度確認機器に認定

DNA品種判定装置は、コシヒカリなどの品種をDNA鑑定して特定する。この装置が日本穀物検定協会の精度確認機器に認定された。精度確認試験は米のDNA鑑定結果の信頼性を確認するもの。日本穀物検定協会とコシヒカリやひとめぼれ、あきたこまちなど、米の主要47品種についてDNA鑑定の精度確認を行っ

た結果、47品種すべてにおいて同協会とサタケの鑑定結果が一致した。これにより同協会より業界初の「財団法人・日本穀物検定協会精度確認機器」として認められた。

スター農機が小型ロールベアラ6型式を発売

新しい小型ロールベアラシリーズは、トワインタイプの「MRB0855T」3型式とネットタイプの「MRB0855N」3型式。主な特徴は、

1. 8段階に梱包密度を設定でき、同社の従来機と比較して2割程度軽い梱包を作ることも可能。

2. 通常の作業では、設定梱包密度になると自動的にネット/トワインの巻きつけが始まるので、走行を停止。梱包の排出もPTOを回したまま、コントロールボックスの開閉スイッチを操作するだけ。キャビン付トラクタでも使いやすい。

3. 梱包作業の途中でも、手元のコントロールボックスのボタン操作（強制繰出しボタンを押す）によって、ネットやトワインの繰出しが可能。

など。

日立建機ティエラがコンパクトトラクターを発売

新発売したのは価格重視のコンパクトトラクターJTXシリーズと、高性能トラクターNTX300S。JTXシリーズは10.5、13、14.5、16.5、18.5馬力の5型式。全長約2mと耕うん機なみにコンパクトでありながら1270mmのロングホイールベースで牽引力が大きく安定感のある作業ができる。整地性能を高める「回動式ニューフラップカバー」、TDM仕様はハンドル手元で作業機の昇降ができる「電子アップ」などを装備。NTX300Sは、ハンドルを大きく切ると1点旋回となる「AD倍速ターン」、高精度作業を実現する「スーパーテラコントロール」などを搭載している。



消費者ニーズに応えた低コスト生産のできる

乾式無洗米機「ヒカリ」完成。

小型で機能満載 設置が自由自在 無残粒



集塵機オプション

●白米の表層糠を多積ホイールブラシできれいに取り除いた無洗米に仕上げます。●処理能力(精米): 100~400kg/h ●所要動力: 3.725kW ●型式: PKR-370

株式会社 山本製作所

本社/〒994-8611 山形県天童市大字老野森404番地
TEL.023-653-3411 FAX.023-654-7781
ホームページアドレス/ <http://www.yamamoto-ss.co.jp>
●詳しいお問い合わせ先(農機営業部)
TEL.023-653-3410 FAX.023-654-7781

富士ロビンが防災フェアにガス発電機などを出展

横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催された 2006 横浜防災フェアに、軽四輪駆動消防車、消防ポンプを始め、このほど開発した業界初のプロパン・ブタン燃料切替式のガスエンジン発電機「RGi シリーズ」、また、緊急用直結式給水装置「水蔵」、さらに、非常持ち出し袋、懐中電灯、携帯トイレなどを揃えた「防災安心セット」など防災機器を出品、多くの参観者から注目を集めた。今回出品したガスエンジン発電機は、家庭用ガスボンベでもプロパンガスでも、切り替えひとつで、簡単に使用できる革新的な発電機。防災用としてのあらゆる条件をクリアしている。

ホンダがエタノールの製造技術を RITE と共同開発食用に供さない植物の茎や葉といったソフトバイオマスに含まれるセルロース類からアルコール燃料を製造する技術を、本田技研工業の研究開発子会社である本田技術研究所と財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) が開発したと発表した。RITE の極めて高度なバイオ技術とホンダのエンジニアリング技術の融合により、新たに開発された今回の「RITE ホンダプロセス」は、

1. ソフトバイオマスからセルロース類を分離する前処理工程
 2. セルロース類の糖化工程
 3. 微生物による糖からアルコールへの変換工程
 4. アルコールを精製する後処理工程
- の 4 工程から成り立ち、セルロース類からのバイオエタノール製造に道を開き、大幅な増産を可能とするとしている。

丸山製作所が背負動噴と刈払機を新発売

新製品は、背負動噴 MS053D-20「霧将軍」と刈払機 MB2460「草刈しま専科」。背負動噴「霧将軍」は、新開発の S ユニフローポンプ (差動式ピストンポンプ) を搭載。圧力を 3 段階に切り替えでき、作業に合わせて圧力設定ができる。刈払機「草刈しま専科」は、今春新しいコンセプトで発売したバリューエイブルシリーズに新しく加わった製品。従来機の基本性能を継承しながら軽量化に特化して開発したもの。U ハンドル、ループハンドル、2 グリップの 3 機種がある。また、同社では、10 月から来年 9 月 30 日の間に新発売する製品を中心に、新規購入ユーザーを対象とする全国キャンペーン (元気農業応援キャンペーン) を展開する。

山本製作所が米粉アルファ化技術で米穀機構の支援事業に選定

米穀安定供給確保支援機構の 18 年度米加工品新規需要開発支援事業の採択課題に選ばれた。テーマは「小型製粉機による製粉同時アルファ化技術の開発」。低コストアルファ化米粉を作ることを目的に、臼型製粉機での製粉と粉のアルファ化を同時に行う技術を開発するもの。支援は単年度で、経費の半額が補助される。来年 1 月に評価会が行われ、3 月にその成果が発表されることになっている。

 <p>共立キャビンSS KOKI SSV545FC 〒188-8711 東京都青梅市末広町 1-7-2 TEL 0428-32-6181</p>	 <p>マメトラ長ネギ兼用管理機 小型農機の名門 MSR-950N マメトラ 穂付溝から仕上げの土寄せまで ネギ農家待望の兼用管理機誕生 マメトラ農機株式会社 埼玉県橋川市2-9-37 TEL048-771-1181</p>
--	---